

# 東日本 大震災

# 救援・復興に全力をあげます

心ひとつに、戦後最大の危機をのりこえよう **日本共産党**

大震災で被災されたみなさんに心からお見舞い申し上げます。  
わたくしは、みなさんと協力して、救援・復興に全力をつくします。

**震災後ただちに救援活動**

**放射能汚染 積極提案で**

**避難所 市を動かす**

流山でも震度5弱の揺れ、屋根瓦の落下など多くの被害が出た大震災。共産党のいぬい紳一郎議員は、11日夜遅くまで、地域の一人暮らしのおとしよりや車いすの障がい者などの安否確認をおこないました。13日からは南流山駅で救援募金活動も始めました。

共産党市議団は、対策本部を立ち上げ、避難者への支援、放射能汚染への対応などを求め4回要望書を市に提出。連日ニュースを発行、救援活動を励ました。

さらに、イトーヨーカドーへの申し入れ、炊き出しボランティアを呼びかけるなどの実行力に、市長も「みなさんのグループが頑張っているのはよく知っている」と認めています。



**流山市は  
3つの  
対策を**

**国の総力をあげて  
救援・復興を**

家を失った被災者への個人補償の抜本的拡充が必要です。被災自治体への十分な財政支援や農林漁業・中小企業への支援と補償をおこない、生活と地域社会を再建することこそが復興の土台です。  
復興の財源は、2兆円に及ぶ大企業・大資産家への減税、米軍への「おもいやり予算」の見直し、大企業の244兆円のため込みの活用などで賄うべきです。

**1 すべての被災者に支援を**

姉妹都市相馬市への救援はもとより、避難所や市民宅に身を寄せている避難者、家屋が損壊した市民など、すべての被災者を対象に、必要な支援をおこなうべきです。

**2 放射能汚染の正確な情報を**

北千葉浄水場の水道水から放射性物質が…。市民不安の解消のため、国・県と一体で、水道水、野菜、土壌など正確な情報を公開すべきです。

**3 公的施設の全てを耐震化に**

平和台保育所など耐震性に問題がある公立保育所、公共施設の耐震化を急ぐべきです。さらに、病院や認可保育所など公的施設の耐震化をすすめるべきです。

**日本共産党の躍進で原発頼みの転換を**

福島原発の事態は「想定外」ではありません。共産党国会議員団が追及した、大規模津波を想定した対策をうたなかつたことが原因です。

国・地方で、日本共産党を大きくしてこそ、徹底した情報公開と原発の安全点検が進みます。また原発依存を転換し、風力や太陽光などの自然エネルギーの活用・促進がはかられます。

**救援募金  
のお願い**

日本共産党は、「東日本大震災」で救援募金を受けつけています。

【郵便振替口座】00170-9-140321

【口座名義】日本共産党災害募金係

送金は、振替用紙の通信欄に、必ず「地震救援募金」と明記してください。

**流山民報**

2011年4月号外

日本共産党流山市委員会 TEL7157-6140

<http://www.geocities.jp/kfbkd645/>

市議会議員

**いぬい紳一郎**

こんな時  
だからこそ

# 今こそ、福祉・防災の流山市へ

## 市民のために働く日本共産党の4議席を

震度7を想定した防災計画に強化を！

### 福祉こそ市政の柱に

中学3年生までの医療費無料化をめざします。待機児解消のため、保育所の増設し、耐震化を急ぎます。特養ホームの建設で待機者をなくし、高齢者世帯の安心ネットワークをつくりまします。

### 負担減らし暮らし応援

国保料を引き下げ、介護の負担を軽減します。つくばエクスプレスの運賃を引き下げます。定期割引率や通学定期はせめてJRなみに。

### 不要不急の事業は凍結・延期を

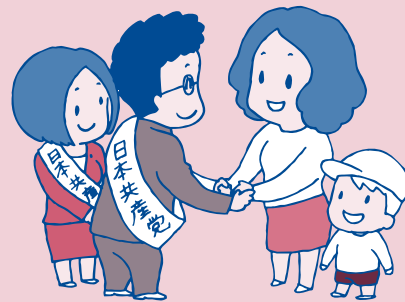
事業費が毎年百億円もかかるTX沿線巨大開発をやっている場合ではありません。不要不急の開発は凍結・延期し、震災復興や病院・保育所・公民館などの耐震化、福祉の力強いネットワークのために使うべきです。

### 今こそ足腰の強い地域経済を

大震災で傷んだ家屋の改修に、『住宅リフォーム制度』の創設が急務です。利用者には喜ばれ、地元業者にも仕事が回り、市の税収も増える制度です。地域経済を元気にする農業や商店、中小企業の振興と雇用拡大をすすめます。

いのちと暮らしを守るためには、建物の耐震化などハードはもちろんですが、おとしよりと子どもなど、弱者を犠牲にしないことです。医療、介護、福祉、子育て支援などの力強いネットワークがかかせません。災害につよい「福祉・防災のまちづくり」をごいっしょにすすめましょう。

みなさんから寄せられた声、まっすぐ市政にとどけます。



放射能汚染が怖い。不安を取り除くため、乳児や妊婦に水を配ってほしい。

親類が福島から避難してきたが、いつまでも一緒に住めない。住宅を提供してほしい。

地震で足がすくんだ。電話がつうじない。揺れで気持ちが悪くなり、急いで安定剤を飲んだ。

### この声にこたえすぐ動く

みなさんと力を合わせ  
数々の要求実現

これまで

- 震災後直ちに一人暮らしの高齢者や障害者の安否確認に動く
- 水道水の放射能汚染、「安全な水」の供給に協力
- 避難所の炊き出しボランティアや布団と自転車を提供
- 阪神大震災直後から、学校など公共施設の耐震化で市政を動かす
- 子どもの医療費助成の拡大、国保窓口負担の軽減を実現
- ごみ袋有料化にストップをかける



## 災害時に大きな力を発揮します